

事業完了報告書（奈良県教育委員会）

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 令和7年3月10日
調査研究事項	以下のⅠ～Ⅴのいずれであるかを記載した上で、研究テーマを明記する。 Ⅲ. 都道府県・市町村間の連携に関すること (研究テーマ) 夜間中学設置市と連携した生徒の実態に応じた日本語指導に係る教員研修の在り方及び夜間中学の周知の在り方について
調査研究のねらい	令和2年国勢調査において、本県では、未就学者が806人、最終卒業学校が小学校の者が7707人であることが分かっている。また、近年、国籍や生活習慣、年齢、これまでの学習状況等、在籍者や入学希望者の多様化が進んでおり、特に、日本語習得に課題のある生徒等が増加している。そのため、必要な日本語指導の充実を図るために支援が必要である。 夜間中学において、義務教育を受ける機会を実質的に保障するためには、夜間中学に通う多様な生徒の実情等に対応できるよう、学習指導等に当たる教員の指導力の向上は喫緊の課題であると考ええる。 令和3年に奈良県教育委員会が策定した「奈良県夜間学級における教育の機会確保に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）に基づき、各市町村教育委員会と連携しながら夜間中学での教育の機会の提供を推進していくことが重要である。 「基本方針」には、夜間中学における就学の機会の提供等に関する事項に、以下の内容を示している。 （１）夜間中学における教育活動の充実 ○夜間中学における教育活動の充実が図られるよう、個々の生徒のニーズを踏まえ、小学校段階の内容を含め生徒の年齢・経験等の実情に応じた教育課程の編成を行い、必要な日本語指導の充実を図るために必要な支援を行う。 また、夜間中学に関するその他の施策を総合的に推進するために必要な事項においても、県内の教職員に対し、教育機会の確保等に関する理解等を深めるための研修の充実を図ることを明記している。

	本県では、現在、奈良市、天理市、橿原市にある三つの公立中学校に夜間学級が設置されている。県及び各設置市の取組について情報共有及び意見交換等を行い、各夜間中学における教育の質の向上が図られるよう、県教育委員会は夜間中学設置市連絡協議会を設置し、定期的を開催している。また、県内各市町村教育委員会の就学担当課と連携し、夜間中学への就学についての情報共有を行う機会を設けている。 近年、設置市連絡協議会において夜間中学の教員たちが、国籍が多様化する生徒の実態に応じた日本語指導について課題を感じていることがたびたび取り上げられるようになった。 そこで、県内公立夜間中学の設置市をはじめ、各市町村教育委員会と連携し、夜間中学で学ぶ生徒一人一人の実態に応じた教育内容を充実させ、効果的に指導できるよう、個々の生徒のニーズを踏まえ、小学校段階の内容を含め生徒の年齢・経験等の実態に応じた教育課程の編成について協議し、特に、日本語を母語としない学齢経過者を含む生徒等への日本語指導の在り方について研究する。日本語指導の研修を通じて、文化間移動と発達の視点から外国人生徒等を理解する力等を育むとともに、夜間中学における日本語指導の質及び指導力の向上を図る。 また、夜間中学での学びについてのニーズを掘り起こすため、ポスターやチラシの配布に加え、夜間中学の広報番組を作成し、インターネットや地元テレビにおいて広報活動を行うとともに、市町村教育委員会と連携した広報活動の在り方について研究を進めていく。 なお、本事業の事業計画を立てるにあたり、まず設置市と連携を図った。設置市においては域内の夜間学級の実態と課題に応じた調査研究を行い、県教育委員会においては設置市共通の課題である、在籍者や入学希望者の多様化に伴う個々の実態に応じた日本語指導の在り方を研究することで、多面的に県内の夜間中学の教育の充実を図ることができるよう工夫することとした。
調査研究の成果	○公立中学校夜間学級設置市連絡協議会について 第1回 実施日：令和6年6月26日（水）オンライン 参加者：奈良市教育委員会、天理市教育委員会、橿原市教育

	委員会担当者、県教育委員会担当者 3 名 ・各校の入学者についての情報共有及び夜間中学の広報計画等の検討 ・各校における日本語指導の現状と課題について 第 2 回 実施日：令和 7 年 1 月 31 日（金）オンライン 参加者：奈良市教育委員会、天理市教育委員会、橿原市教育委員会担当者、県教育委員会担当者 3 名 ・日本語指導に係る研修及び広報活動の成果と課題 ・各設置市における取組についての情報交換 ○研修「個々の実態に応じた日本語指導の在り方について」 第 1 回 日本語の指導方法スタートライン研修 実施日：令和 6 年 9 月 13 日（金）オンライン 参加者：県内公立義務教育諸学校教員、各市町村教育委員会担当者 46 名 内容：行政説明「夜間中学について」 講義「日本語指導の基礎について」 奈良教育大学 教授 和泉元 千春 氏 第 2 回 日本語の指導方法スタートライン研修 実施日：令和 7 年 1 月 16 日（木）オンライン 参加者：県内公立義務教育諸学校教員、各市町村教育委員会担当者 41 名 内容：講義「日本語の指導の計画と実施について」 奈良教育大学 教授 和泉元 千春 氏 ○県内商業施設等へ広報活動 ・県内夜間中学についてのポスター及びチラシの設置依頼し、県内大型商業施設 13 施設、県内ハローワーク 6 箇所に配布している。 ○広報番組の作成 ・橿原市教育委員会及び、橿原市立畝傍中学校夜間学級と連携し、夜間中学に関する広報番組を作成した。令和 7 年 1 月 7 日に、奈良テレビで放映の後、県立教育研究所 Web ページに URL を掲載し、3 月末まで YouTube 配信を行っている。
--	---

	○夜間中学周知ポスター及びチラシの作成及び多言語版チラシのW e b 掲載 ・夜間中学に関する周知のチラシとポスターの作製、配布と共に、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ネパール語、スペイン語に翻訳したチラシを作成した。
--	--